

平成 25 年 10 月 2 日

お客様各位

株式会社 山喜農園
新潟県魚沼市原 1280-1
TEL. 025-794-2455
FAX. 025-794-4168

E-mail: info@yamaki-noen.co.jp
HP Address: http://www.yamaki-noen.co.jp

球根情勢報告

球根情勢報告兼出張報告（書けなかった…）

今回は最後のページから読んでいただいたほうが良いかも？

平素よりお引き立ていただき誠にありがとうございます。

早いもので 10 月になってしまいました。残すところあと 3 か月。
弊社の決算月は 11 月ですので、残すところあと 2 か月となりました。

今年は良い年になりそうでしょうか？

百合切花の市場流通状況は、38/39 市場統計によれば、（全国の百合切花流通の 63～68% をカバー。）

| | | | | |
|-----------|------|---|--|-------------|
| O. H/O. T | 1～3月 | 歴史的安さ…。1月/2月の安さはやはり過剰感のあった11年1月/2月と一緒。 震災のせいではない。（11年） 沖縄・九州の台風の影響でもない（13年）（去年は良かった。） | | |
| | 4～5月 | リーマンショック以降では良かった。 | | （去年は悪かった。） |
| | 6月 | 良くない。 | | （去年も悪かった。） |
| | 7～8月 | まずまず。十分ではない。 | | （去年は歴史的悪さ。） |
| | 9月 | まずまず。 | | （去年は悪かった。） |
| A. H/L. A | 1～3月 | 歴史的安さ…。 | | （去年はまずまず。） |
| | 4～6月 | 良くない。 | | （去年も良くない。） |
| | 7～8月 | まずまず。十分ではない。 | | （去年はやや悪い。） |
| | 9月 | まずまず。 | | （去年は悪かった。） |

総合的には

| | | | | |
|------------|--------------------|----------------------|--|--|
| 昨年は | 1～3月が良い。 | | | |
| | 4～6月が悪い。 | （歴史的安さ。） | | |
| | 7～9月が悪い。 | （歴史的安さ。） | | |
| | 10月が悪い。 | | | |
| | 11～12月が良い。 | となっている。 | | |
| 本年は | 1～3月は悪い。 | （歴史的安さ。） | | |
| | 4～5月は良い。 | （リーマンショック以降ではすごく良い。） | | |
| | 6月は悪い。 | | | |
| | 7～8月はまずまず。 | | | |
| | 9月は良い。 | となっている様子。 | | |
| | 10～12月……どうなるでしょうか？ | | | |

既にご報告のとおり、

11 年産/12 年産ワダ産百合の入荷状況は、07/08 年産の減少率（11%減）に近い減少率となる様子。
（8 月末日までの入荷量 8.5%減。）

A. H/L. A で約 8～10%、O. H/O. T で約 4～6%の国産百合切花減少が起きてくる様です。（ちなみに切花
輸入量については、8 月末までは 2%減。）

A.H/L.A が約 9%内外減少することは、昨年の暮れから予測されていたが、O.H/O.T が、5%内外減少することは想定していなかったもので、ちょっと驚いています。(うちだけで減らしていると思っていた。)

A.H/L.A では、2013 年 4 月 20 日～2014 年 4 月 20 日頃までの切花出荷期間中に、この減少が起きる予定だった。結果的には、4～6 月の期間では減少が確認されていない。

7 月以降の切花作型で、減少が始まっているものと考えられます。

O.H/O.T では、13 年 5 月～14 年 1 月の切花出荷期間中に、この減少が起きるであろう想定が出来ません。実際には、4 月以降減少が始まっていた。特に 8 月下旬～9 月の減少は他の月の減少率より大きい様子でした。

10～12 月の減少率は、4～9 月のそれを上回ることは無いかもしれないが、昨年を上回る流通量にならないことを期待しています。

10 月は、日本の百合が最もキレイに咲く月だと思います。(暖地・中間地・高冷地、全国の切花品質が良くなる月！)

11～12 月も、今年はきっと切花品質が良くなると思います。

後半 3 ヶ月盛り上げていきましょう。

13 年産南半球産百合

9 月 13 日までの主要輸出業社からの球根販売状況聞き取り調査によれば、

日本への輸出予定量は、

A.H/L.A では横ばい。(12 年産のオランダ産減少と合わせて実質大きく減少。)

O.H/O.T では約 1,000,000 球減少。(12 年産オランダ産減少と合わせて実質大きく減少。)

南半球産 O.H/O.T の輸入球数が 23,000,000 球以下となるのは、09 年産球根/10 年産冬春切花以来。(10/11/12 年は 3 年連続 23,000,000 球以上！)

歴史的安さ・燃料代高騰・円安・消費税アップ等の初タイプ要素を勘案すれば減って当然。(業界全体ではあと 300～500,000 球減ればなお良い！)

昨年から今年にかけては、11～12 月が高くて、1～3 月が安かった。4～5 月が高かった。

今年から来年にかけては、11～12 月が安くなれば、(頼むから安くならないで！) 1～3 月が高くなって、4～5 月が安くなる？

裏年/表年の法則が証明されてしまうのか？そうになったら悔しいです…。

なんとか、球根流通/作付計画/切花市況、平らな動きになりませんか～。(球根品質も不安定。球根価格も不安定ですけどね…。)

弊社の場合、球根の入荷速度は昨年比ゆっくりめ。最終入荷は昨年より早め。(取扱い数減少が主たる理由。)

一方球根出庫は、昨年よりやや早めとなっている様です。(なぜ?) 球根品質についてはまだ情報量が少ないので何とも言えませんし、出庫が早まっているせいもあるかもしれませんが、やや芽の動きが遅い様です。(9 月上旬までの出庫。9 月 20 日以降からは逆に動きが良さそう。)

12 年産オランダ産球根百合

8 月お盆前出庫＝8 月中、定植分については、昨年比事故は少なかった。(シラ・マロ・フェニス・ムーバを除く)

8 月お盆以降出庫＝9～10 月定植分から前記した品種以外でも事故が目立ち始めた。(昨年より大幅事故が多いわけでは無い。)

エネルギー切れでしょう…。(球根の糖分、その他が保管期間中に減ってしまったり…様々です。)

正直 12 年産の球根はここまで品質が安定していると思っていなかったもので、8 月上旬までパーの点まで含め、良く持ってくれたと思っています。

年内中、品質の高い百合切花流通することを願っています。

13年産ワグダ球産百合（ここから出張報告も含まれます。）

9月6日～11日までワグダに出張してきました。

2002年から今年まで、12回目の9月期ワグダ出張となります。

過去には、2月/3月期、5月期、6月期、11月/12月とワグダ出張の際にはできるだけ大勢のお客様/関係各位に『ぜひ参加してください。同行してください。』と声を掛けさせていただきましたが、9月期についてはあまりお誘いすることはありませんでした。（11/12年に1人ずつ参加した事しかない。）今回は、新潟/津南の切花農家、高知/高知市の業社様から各1名計3名の出張となりました。

私が球根の商売をやるなら絶対にはずせない出張時期だと思っているのはこの9月期出張です。

今回の感想は過去11回の調査と比べて、全く違う状況であったという事です。（出張報告を書くことをためらい、9月が過ぎるまで文章にしたくなかった理由。）

A. H/L. A/Longi/0. H/0. T、品目によって結果は様々だと思います。
東西南北それぞれの球根生産地によって結果は様々だと思います。

9月6日～11日の段階では、球根肥大/植物体の充実度（圃場における茎の状態）は概ね2～3週間の遅れとなっていると思いました。

全地域とも肥大の遅れも気になりますが、一番注目した点は、依然植物が夏の生育ステージのままで、秋を迎えてちっとも球根を充実させるプロセスに移行していない事に、最大注目をしました。

そして、9月1ヶ月間の気象データを待つことにしました。

出張期間中感じたのは、9月1ヶ月間の平均気温が、13～14℃なら不作。15～16℃なら肥大の回復はあっても充実のプロセスが遅れて、充実した輪付きの良い球根は出来ない。
という判断をしていました。（そういう話をしていました。）

結果は…。98年以降たった3回しかない平均気温14℃台という、丁度中間の温度帯でした。

通算の日照時間が、98年以降では短い方の年。（9月末まで。）

通算の降雨量は、98年以降では少ない方の年。（7月/8月の干ばつの後、9月上旬のみ集中して多い。これは球根肥大の為に不利。）

定植直後の気象環境が、百合球根の初期生育の為に良くなかった。（4～6月。）

これで、作況は抜群に良くなるという予測は出来ないように思います。（まだ不作になるとも断言できませんけどね…。）

13年産は、

○2～3年振りのA. H/L. A売れ筋品種については欠品傾向となる様に思っています。（エルティボ・インディアンダイヤモンド・ミラーetc.）

○鉄砲百合も18/20以上欠品傾向になると思います。（手遅れ…焦っています。）

○0. H/0. Tについても大球を中心に売れ筋品種は欠品傾向になると思います。

『球根の力』『輪付き』『長期保管性』『休眠打破速度』。これらについてはまだ一切コメント出来ません。

作況予測は以上となります。

世界に向けての球根販売状況は、『昨年よりは、注文が早くてずっと良い』というのがほぼすべての輸出業社のコメントでした。（9月上旬まで。）

中旬以降、日本を除くアジア市場では、球根輸入業者は、『球根を買っているが、どうやら切花農家への価格提示はまだ行われていない。輸入業者が在庫としていて、まだ13年産球根はほとんど販売して

いない』というちょっと信じられないコメントが聞こえてきました。
昨年より明らかに高い仕入（為替問題含む）になっているはずなのに…。

12年産オランダ産の輸出は順調に推移した様ですが、13年産南半球産球根については、『早く出荷してくれ』というリクエストは少ない様です。

本当に順調に球根消費されているのかな～？。

球根価格/在庫状況は作況とは別に、世界の消費状況の影響も大きいです。
こちらの動きも注意深く見ていかなければいけない様です。

ところで…

TYS/VOFTYS/VOFST 見てきました。
8~15種類のバリエーション0%だそうです。良かった！！
少なくとも、母球/養成球については入っていない。そして圃場にはなさそうです。

掘り取り後の処理、日本での栽培期間中などで罹病してしまうリスクはあるかもしれませんが、基に入っていないことは本当に良かったです。

オランダ TYS 生産会社であるホップマン社・ロイヤルトリニティ育種会社であるワールドフラワー社（オランダ TYS 生産会社・Rトリニティ SES 生産会社）は、自社生産のソルボンヌ/ティバー等を母球として他の球根生産会社への販売を行っているとの事。本当にきれいにしてくれたんだなあ～と思いました。
本当に良かったです。

そうやって頑張ってくれている球根農家の期待に応えてやりたい。儲けてもらいたいと思いました。

仮にウイルスが入ったとしても、列強やストライク農家のように正確に正直に状況を伝えてくれれば、使う方法はある。

一方、品種名/農家名/輸出業社名は出しませんが、全然そこら辺の事に対して、緊張感のない人もまだいるみたい。（日本が扱っている品種/業社です。）

なんとかありませんかねえ…。（難しいですよ～。）

今回出張では、訪問・確認できた圃場枚数/面積が例年の半分くらいから60%くらいでした。
各地域を見てきた感想と、その後の輸出業社からの経過報告では全く逆のケースも出てきています。
例えば、ノースストポルター『L.Aの大産地』は、作がすごく悪いように思っていたのですが、その後『まずまず』というコメントが聞こえてきています。
デレンテ/オーバーハイル（東部オランダ、インディアン/イモン生産地域）は、悪い印象をもたなかったのに、『すごく悪い』というコメントが聞こえてきたり…。

結局…、

今年の場合、8月中旬くらいの畑を見た事になってしまいましたからね～。（普通の年なら作況を予測するのは無理な時期。）

13年産オランダ産百合球根の販売をスタートさせた時、地元 JA 北魚沼堀之内の切花農家に伝えた第一声は、『ちゃんと生産できる準備が整っていたなら、今貴方自身が考えている、高いと思う品種を、自分が出来ると思う最大球数、買ってください。』というコメントをして営業をスタートしました。

随分無理なことを言いました。（様々な意味を込めたつもりでした。）

まだ、球根仕入が終わっていない人がいましたら、急ぎまとめてください。ここまでの所は早めに買った方が良い年となっている様です。

O.H/O.Tはもう少し…。（前年比92.0%）

A.H/L.Aはまだまだです…。（前年比73.1%）作が悪そうなので、ちょっと焦っています。

次回レポートでは、

『カブランカは35才？シリア・リボンもそろそろ25才？』

『ダーウィン進化論』の話を書きたい。

①ウイルス・ネクター対策

②球根実年齢対策

③丈が伸びる/伸びない系統（同一品種内での球根農家別個体差）

④球根が作られた土壌条件・気象条件

⑤到花日数が65日以下/110日以上の意味（日本の気象条件は、花を作るのに世界で最も厳しい？）

本当は今すぐお伝えしたいのですが、時間を置いた方が考えはまとまる様なので…。

その次は『ラスタの球根冷蔵庫』『使用している冷媒は何？』。このネタも面白そうです。

よろしくお願ひ致します。

詳細はお問い合わせください。

以上
森山 隆



<http://www.lily-promotion.jp/>

私共はLPIの趣旨に賛同し
協力・応援しています